

設問 I

問 1 次の文にあてはまる人物の名前を解答欄に書きなさい。

- (1) アメリカ合衆国の教育者で著述家である () はドルトン・プランの提唱者であり、ドルトン・スクールを創設した。
- (2) イギリスの () は経験論を唱え、「人間の精神は、はじめ白紙である」や「健全な肉体に宿る健全な精神」と考えた人物である。
- (3) () は、人生を 8 つの発達段階に分けた心理社会的発達理論を提唱した。この理論では、各発達段階で達成すべき発達課題があるとされる。特に、青年期ではアイデンティティの確立が発達課題になるとした。

問 2 次の文の (ア) ~ (オ) にあてはまる人物を語群からそれぞれ 1 人ずつ選び、解答欄に書きなさい。

- (1) (ア) はアメリカの心理学者で、プログラム学習を開発した。彼はネズミを使った動物実験で、オペラント条件付けの理論を実証し、子どもが自分のペースで学ぶことができる学習方法を提唱した。
- (2) (イ) は、日田に咸宜園とよばれる私塾を開設し、多くの門人の教育を行った。咸宜園は身分や出身、年齢などの制限がなく、平等に学ぶことができた。
- (3) (ウ) は、群馬県の島小学校などで、校長として授業研究を中心とする学校づくりの実践を行い、教授学研究を進めた。主な著書として「授業入門」「教育学のすすめ」「授業と教材解釈」などがある。
- (4) 19世紀末までの書物中心の教え込み教育への反動から、20世紀の初頭、作業することを中心原理として、児童や生徒の人間形成を目指す教育である「労作教育」を提唱したのは (エ) であり、日本でも実践された。
- (5) 幕末期、長州藩（現在の山口県萩市）に開かれていた松下村塾からは、高杉晋作や伊藤博文など幕末や明治維新で活躍した人物がたくさん学んでいる。この私塾を指導していた教育者は (オ) である。

【語群】

空 海	福沢諭吉	ケルシェンシュタイナー	ポルトマン		
吉田松陰	フレーベル	斎藤喜博	広瀬淡窓	及川平治	スキナー

問3 次の文は日本国憲法の前文の一部である。(カ)～(コ)に当てはまる語句を解答欄に書きなさい。

日本国民は、正当に選挙された(カ)における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたつて(キ)のもたらす恵沢を確保し、(ク)の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し、ここに主権が(ケ)に存することを宣言し、この憲法を確定する。そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであつて、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは(コ)普遍の原理であり、この憲法は、かかる原理に基くものである。われらは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する。

設問Ⅱ

ワーキングメモリー(作業記憶)とは何か、具体的な例を挙げ80字以内で説明しなさい。

設問Ⅲ

予測不可能で急激な社会の変化が予想される未来に生き抜く子どもたちのために求められるこれからの教育では、0歳から5歳までの教育が極めて重要であり、社会で責任をもって育てる制度に見直していく必要があると言われていています。特に、乳幼児期に「ひとの生き方の根っこ」となる「非認知能力」が育つことの重要性がさまざまな研究からも示されています。非認知能力とはどのような能力か、そして、この能力が育つことは社会人になったときにどのような影響があると考えられるかについて、あなたの考えを400字以内で述べなさい。